

2019年度 第7回 ライフステージ事例検討会 報告書	
日時	2020年2月4日(火) 17時45分～19時15分
開催施設 参加者数	金沢大学15名、富山大学6名、福井大学10名、石川県立看護大学8名、信州大学3名、 恵寿総合病院0名、金沢市立病院1名、小松市民病院10名、浅ノ川総合病院0名、 富山県立中央病院0名、金沢医科大学氷見市民病院9名、富山市民病院2名、富山赤十字病院3名、 黒部市民病院12名、市立砺波総合病院8名、富山労災病院8名、長野赤十字病院0名 合計95名
テーマ	在宅看取り希望の終末期の患者が腸閉塞で緊急入院した事例
発表者	福井大学医学部附属病院 久保 博子さん
<p>【意見交換内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係する人々と入院前または入院直後から情報を共有し、連携することの必要性について意見交換された。</li> <li>・家族に検査のメリットとデメリットを繰り返し説明したり、早めに退院調整カンファレンスを行ったりすることは、家族・多職種が同じ方向を向いていくために大切であると意見交換された。</li> </ul> <p>【他施設からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院時にサマリーなどで訪問看護師から情報と共有をするとより良かったと思う。</li> <li>・本人の意思がはっきりしないため、確認が必要だったのではないか。</li> <li>・長男が告知を拒んだ理由を確認すると良かったかもしれない。</li> <li>・認知機能に問題がないため、本人に告知したうえで、今後どうしていきたいか本音を聞いても良かったのではないかと思う。</li> </ul>	
ミニレクチャー	在宅療養がん高齢者を支える急性期病院の入退院支援